

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間：令和3年3月8日（月）～3月14日（日）

	指標	数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の新規陽性者数	125人	120人	—
(2)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規陽性者数 (陽性者数/(153万人/10万人))	8.17人	7.84人	2.5人未満 (※1)
(3)	週当たりの陽性者増加比 (当該週の陽性者数/前週の陽性者数)	1.04	0.82	<1(※2)
(4)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数/陽性者数)	53%	42%	50%未満 (※3)
(5)	直近1週間の陽性率(※4) (陽性者数/検査実施人数)	3.66%	3.32%	—
(6)	入院中の患者数(※5) (疑似症患者を含む)	117人	126人	感染症患者受入病床 298床
(7)	入院中の患者のうち重症者数(※5) (疑似症患者を含む)	11人	9人	重症病床 30床
(8)	全療養者数(※5)(入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計(疑似症患者は含まない))	190人	202人	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

※1 神奈川県警戒アラート指標の基準を準用

※2 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用

※3 神奈川県の再警戒モニタリング指標の基準を準用
(再警戒基準：新規陽性者数が10人以上の時、50%以上)

※4 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外陽性者も含む）

※5 3月14日(日)現在の報告数（前週分は、3月7日(日)現在の報告数）

2 評価

令和3年3月8日（月）～3月14日（日）の川崎市内におけるモニタリング状況は、以下のとおりです。

- (1) 新規陽性者数は、1月4日～1月10日の1123人をピークとし、前週120人まで

減少しましたが、今週は 125 人と減少が止まり若干の上昇がみられています。

(2) 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの累積新規陽性者数も、同じく 1 月 4 日～1 月 10 日の 73.40 人をピークに、前週 7.84 人まで減少しましたが、今週は 8.17 人と減少が止まり、若干の増加となりました。目安基準（神奈川警戒アラート）の 2.5 人未満は上回ったままです。

(3) 週当たりの陽性者増加比は、同じく 1 月 4 日～1 月 10 日の 2.08 をピークに、前週 0.82 まで減少しましたが、今週は 1.04 と増加し、目安基準 1 以下を上回りました。

(4) 直近 1 週間の感染経路不明者の割合は、このところ 40%前後で停滞していましたが、前週 42%から今週は 53%と上昇し、目安基準 50%未満を上回りました。

(5) 直近 1 週間の検査陽性率は、前週 3.32%と、このところ減少が続いていましたが、今週は 3.66%と上昇しました。

(6) 入院中の患者数は、直近 1 週間の新規陽性者数のピークに 2 週遅れた 1 月 18 日～1 月 24 日の週 182 人をピークとして減少が始まり、前々週は 109 人でしたが、前週は 126 人とやや増加、今週は 117 人とふたたび若干の減少となりました。

(7) 入院患者のうち重症者数は、1 月 4 日～1 月 10 日の 31 人をピークとして、その後減少しましたが、このところ 10 人前後が続き、前週 9 人、今週は 11 人と若干増加となっています。

(8) 全療養者数（入院中、宿泊療養及び自宅療養者合計）は 1 月 18 日～1 月 24 日が 2901 人とピークで、前々週は 474 人、前週は 202 人、今週は 190 人まで減少しました。

(1) 全体の新規感染者数、(2) 直近 1 週間の人口 10 万人あたりの累積新規陽性者数、(3) 週当たりの陽性者増加比、(4) 直近 1 週間の感染経路不明者の割合、(5) 直近 1 週間の検査陽性率は、前週は前々週に比べて全て減少ないし停滞となりましたが、今週はすべて数値の増加がみられています。その結果、(2)、(3)、(4) に設定されている目安基準をいずれも上回りました。

(6) 入院中の患者数は前週増加が今週はやや減少、(7) 重症患者数はほぼ横ばい状態、(8) 全療養者数については減少が続いています。

これまでの本市の感染者の発生状況は、お正月明け頃をピークとして、減少傾向が続いていましたが、今週は指標 (1) ～ (5) 全てが残念ながら減少が止まり微増に転じています。数値的には昨年 11 月初旬のレベルとなっています。

入院中の患者数、全療養者数は依然減少傾向、重症者数はほぼ横ばい状態の 10 人前後となっており、医療体制としては一時より落ち着きを見せていますが、感染者数の状況と約 2 週間の間隔を置いて増減が続くので、このまま感染者数の増加が続く（リバウンド）となると、入院数の増加も見られてくるので、注意が必要です。

多くの市民の方々のご理解とご協力の賜物で、市内の状況は少し安心して頂けるところまでできましたが、感染者数等が若干とはいえ再び増加傾向がみられており、安心が油断となり、気が緩んでしまうと 12 月下旬の状態に戻ってしまうことが心配される所です。首都圏全体としてはあと 1 週間、3 月 21 日まで緊急事態宣言は延長となっていますが、さらに感染者数が落ち着き、重症患者発生が少なくなり、一般の医療に心配がなくなり、続いて経済状況が回復できるためには、もう少々重ねてのご協力の継続を

よろしくお願いいたします。このままの状態が維持または再び減少傾向となれば、卒業式や春休みそして入学式、勤務地の異動、そして高齢者や多くの市民の方へのワクチン接種も比較的スムーズに行えるのではないかと思います。

桜の開花宣言もあり、これから陽気の良い日も増えてきます。どちらかへお出かけになることもあろうかと思いますが、やはり混雑する場所や時間帯はできるだけ避けて、家族単位などの少人数でゆっくりと、過ごされますよう、よろしくお願いいたします。また、三密を避ける、適切な距離が保てないなどの時はマスクをつける、手洗い・手指の消毒をこまめにするなどは、日常生活においての基本的な、そして重要な注意ですので、よろしくお願いいたします。